学校番号	T3016

令和８年度　文化理解

教科	文化理解	科目	(学) 日本語Ａ０２	単位数	１単位	年次	1，2， 3，4年
使用教科書							
副教材等	門脇薫・西馬薫[著]「みんなの日本語初級　第２版　やさしい作文」 （スリーエーネットワーク）他						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 「聞くこと」、「話すこと（やり取り・発表）」、「読むこと」、「書くこと（作文）」という４技能５領域の力をつける授業です。自分の考えや意見を発表したり、書いたりする言語活動を行います。
- 日本語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習しましょう。

2　学習の到達目標

- 身近なトピックに関して簡単な語句や表現を用いて書かれた短い文章を読み、概要や要点を理解することができる。
- 他人の見方に対して簡単なコメントができる。
- 夢や希望を述べることができる。
- 身近なトピックについて、理由とともに自分の意見を簡単に話すことができる。
- 身近なトピックについて、簡単な語句や表現を用いて、短い説明文を書くことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本語の音声や語彙、表現、文法、などの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、身近な話題について、日本語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	日本文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、日本語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自己紹介	ユニット1:自己紹介 ユニット3:わたしの国・町	a:自己紹介に用いる語句の意味や使い方を理解している。 b:名前や出身について、簡単な文を用いて話したり、書いたりしている。 c:自分のことについて、主体的に話そうとしている。	確認テスト(漢字・語彙)	読解 作文	作文 スピーキングテスト
	文脈指示	ユニット5:週末 ユニット11:楽しい１日	a:「それ／その」を使用し文脈指示をすることができる。 b:ある日の出来事について具体的に話したり、書いたりしている。 c:自分の経験について、主体的に話そうとしている。	確認テスト(漢字・語彙)	読解 作文	作文 スピーキングテスト
	手順	ユニット8:旅行	a:手順を説明するための接続詞を使うことができる。 b:旅行の経験について順を追って説明している。 c:旅行経験について主体的に話したりしている。	確認テスト(漢字・語彙)	読解 作文	作文 スピーキングテスト
後期	文の接続	ユニット10:趣味	a:趣味に関する語句の意味や使い方を理解している。 b:趣味について、質問したり、答えたりしている。 c:自分の趣味について主体的に話そうとしている。	確認テスト(漢字・語彙)	読解 作文	作文 スピーキングテスト
	理由説明	ユニット13:わたしの夢	a:将来の希望や計画に関する語句の意味や使い方を理解している。 b:自分の夢について主体的に話している。	確認テスト(漢字・語彙)	読解 作文	作文 スピーキングテスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度